

# 諫早市教育委員会議事録

平成30年第5回（4月定例）

# 平成30年第5回（4月定例）教育委員会

1 日 時 平成30年4月25日（水） 14時00分～15時30分

2 場 所 諫早市役所 7階 7-1会議室

3 出席者 教育長 西村 暢彦  
委 員 秀島 はるみ  
委 員 大石 竜基  
委 員 宮本 峻光

4 会議に出席した事務職員

教育次長	井上 良二
教育総務課長	田島 正孝
学校教育課長	福元 英典
生涯学習課長	藤山 誠治

5 議題

報告第5号 臨時代理の報告について（諫早市少年補導員の委嘱について）

報告第6号 臨時代理の報告について（諫早市少年補導員の委嘱について）

議案第7号 諫早市障害児就学指導委員会委員の委嘱について

議案第8号 諫早市少年センター運営協議会委員の委嘱について

議案第9号 平成31年度使用中学校教科用図書の採択に関する基本方針等  
について

議案第10号 諫早市少年補導員の委嘱について

## 議事録作成者の指名

竹島教育総務課課長補佐を議事録作成者に指名

## 議事録署名人の指名

大石委員と秀島委員を議事録署名人に指名

## 議事の非公開

報告第5号、報告第6号及び議案第7号、議案第8号、議案第10号は、人事案件であるため非公開

## 議事録の承認

- 平成30年第4回（3月定例）教育委員会の議事録について  
質問・意見なし  
原案どおり可決

## 教育長等の報告の要旨

### 1 教育長の報告

- 宮本委員辞令交付について

本日4月25日、諫早市長より特別応接室にて交付された。

- 児童生徒数、学級数について

始業式・入学式時の児童生徒数、学級編制が確定した。小学校の児童数は約7,600人で前年度から9人の減。学級数が普通学級と特別支援学級あわせて348。中学校の生徒数は約3,500人で27人の減。学級数が137となっている。

- 当初校長研修会、副校長・教頭研修会について

4月11日に校長研修会を、4月12日に副校長・教頭研修会を開いた。各課長から今年度の事業等の説明を行った。

○諫早小学校の「ことばの通級指導教室」入級式について  
市内7つの小学校から23人の子どもが入級した。

○諸会議について

(1)長崎県都市教育長協議会について

「部活動指導員の任用について」と「義務教育学校の設置について」で  
情報交換を行った。

(2)長崎県市町村教育委員会連絡協議会合同理事会について

5月に総会が行われ、今年度から諫早市教育委員会が事務局を務めるこ  
ととなる。

(3)県市町教育委員会合同会議について

県教育委員会の各課から事業等の説明があった。その後、「『親力』を高  
める家庭教育支援のあり方」というテーマで意見交換が行われた。

(4)県市町スクラムミーティングについて

「ふるさと教育について」と「教職員の働き方改革について」の意見交  
換であった。「ふるさと教育について」は、ふるさとのことを理解しふるさ  
とを愛する子供たちを育てたい、理解するにあたって文化などに限らず産  
業のことなどについても理解してもらいたいということであるが、若者の  
流出の防止が最終的な目標であるとのことであった。

私からは、諫早市で行っている「郷土愛育成事業」、「ふるさと愛育成事  
業」、「地域教育力向上支援事業」について説明を行った。

《教育長の報告に対する質問・意見》 なし

2 教育次長の報告 なし

《 議 事 》

1 議案第9号 平成31年度使用中学校教科用図書採択に関する基本方針等  
について

学校教育課長説明

[委員]

保護者の意見も参考にしようだが、保護者の対象はどのような人か。

[学校教育課長]

学校教育課の前に展示を行う。展示を見ていただいてご意見を書いていた  
だくようにしている。市報に掲載して周知する。

[委員]

その成果としては出ているのか。

[学校教育課長]

なかなか見に来られる方は少ないというのが実態ではある。

[委員]

教育委員会が意図している人数であればよいが、もう少し人数がほしいとか、多面的に納得されないというのであれば、例えばPTAに人数を出してほしいとかいうことも検討されてはどうか。

[学校教育課長]

そういったこともあって採択協議会の中にPTAから2名入っていただいて保護者の意見として伺っている。

[委員]

校内教科研究会が各校5日程度のようにあるが、8社の3学年分で24冊を5日間で目を通さないといけないこととなる。かなりのボリュームでまとめるのは困難ではないのか。もう少し日数を増やすことはできないのか。

[学校教育課長]

24冊を学年間にそれぞれ割り振り、各学年で見合い、意見を記録して学校の意見として取りまとめ提出していただいている。

[委員]

今に始まったことではないので、それくらいの期間があれば見れるということか。現場から期間が足りないという声はあがっていないのか。

[学校教育課長]

県教委から県のスケジュールに合わせて冊数の配当が行われており、例年このような流れになっている。

[委員]

実績のある先生たちなので、見るポイントがわかっているのではないかな。

[委員]

今回は道徳なので、通常の教科を見るよりも時間をかけてみられるのでは。

[学校教育課長]

通常の教科の時も、おおよそ今回のスケジュールと同様である。

[委員]

本の冊数を増やすか日数を増やすかすれば、もっと慎重に検討することができるのではないか。

[学校教育課長]

本の冊数は、県からの配当で決まっているので増やすのは難しい。

[委員]

現場からももう少し増やしてほしいとの声が上がっていないのであればいいが。

[委員]

今後も定期的に教科書検討はあるので、今回の結果として現場の声を吸い上げていただいて報告していただきたい。

[教育長]

現場からももう少し増やしてほしいという声があれば、県下全体の日程的なことにもかかわってくるので、県教委との調整も必要になってくると思う。

原案どおり可決

《教育総務課長の報告》

- 長崎県市町村教育委員会連絡協議会事務局について
- 平成30年度長崎県市町村教育委員会連絡協議会総会及び県市町村教育委員会合同研修会の開催について

《学校教育課長の報告》

- 平成30年度諫早市小・中学校の体育大会、運動会について
- 夏季休業中の学校閉庁日の設定について
- 平成30年度学校実態調査及び新任校長校訪問計画について

《生涯学習課長の報告》

- 多良見のぞみ会館浴場レジオネラ属菌検出について

[委員]

以前もあったが、今でも循環式か。

[生涯学習課長]

循環式である。

[委員]

循環式では、検出しなくなることは不可能。

在郷軍人病という病気があり、これは、アメリカの在郷軍人の会議がありその部屋でクーラーを使用していたところ、その参加者がバタバタと倒れ、何人か亡くなった。クーラーの中の水の中の細菌が飛散して起こったものと考えられている。どんなに少数の細菌であっても絶滅することはない。消毒をしてもその耐性菌が出てきて生き残る。だから、循環させている限りは絶対出てくる。そこを変えないことには繰り返す。もし、その間に何か(例えば人命にかかわることとか入院患者が出るとか)あればアウト。危険性は必ずある。

[教育長]

前回は委員からそういった意見をうかがっていた。ただ、指定管理者である施設管理公社としても、保健所の指導を受けて再開するということが基

準となってくるので、平成29年9月以前は1日4回の塩素測定、週1回の換水、月1回の高濃度配管洗浄でいいということだったが、その後もう少し徹底しようということで回数を増やしていた。これだけ行って今回検出されたのが、10CFU/100mlという値であった。これ未満は不検出とされる。今回の改善策として、さらに高濃度配管洗浄を倍に増やしたり検査を増やしたり、また、ろ過槽のろ過材も全部替えたりということで、誠意を見せて再開するしかないといったところである。

市の他の施設で浴場があるところは全て循環型であるが、こういった菌の検出は起きていない。

《非公開議事》

- 2 報告第5号 臨時代理の報告について（諫早市少年補導員の委嘱について）  
生涯学習課長説明  
削除  
了承
- 3 報告第6号 臨時代理の報告について（諫早市少年補導員の委嘱について）  
生涯学習課長説明  
削除  
了承
- 4 議案第7号 諫早市障害児就学指導委員会委員の委嘱について  
学校教育課長説明  
削除  
原案どおり可決
- 5 議案第8号 諫早市少年センター運営協議会委員の委嘱について  
生涯学習課長説明  
削除  
原案どおり可決
- 6 議案第10号 諫早市少年補導員の委嘱について  
生涯学習課長説明  
削除  
原案どおり可決

## その他

教育総務課長

定例教育委員会の日程について説明

15時30分閉会